

議会改革

見せます！ 議会力・議員力

議場の音響映像設備改修！

寄居町議会の本会議が開かれる「議場」。傍聴しやすく、聞きやすく、そして今後の情報発信に対応できるように、議場の音響・映像設備を改修します。2400万円の予算で、老朽化した設備を新たにデジタル化し、「さらに開かれた議会」をめざしていきます。

なぜ音響・映像の設備改修が必要？

県や市町村の議会は、地方自治法で本会議を公開し、会議録を作成することが定められています。そのため、傍聴席でも発言が聞きやすいようスピーカーなどを設けるほか、寄居町ではロビーでも視聴できるように庁内放送もしています。また、会議録は発言を正確に記録し、文字化するため、マイクや録音機器が必要となります。

20年以上経過した設備

寄居町では、議場の音響・映像設備は、平成6年の庁舎建築時に設置されました。当時の録音機器はカセットテープレコーダー、録画機器はVHSビデオレコーダー、カメラやモニターもアナログ機器です。20年以上経過し、故障した場合は部品もありません。特に本会議中の録音機器の故障は、会議録の作成にも支障が出るため、早期に交換する必要があります。

音響・映像設備の改修で変わることは？

庁舎建築時の音響・映像設備を改修する目的は、機器や設備を更新し、デジタル化することだけではありません。議場は役場3階にありますが、傍聴席は4階。傍聴席に着席した状態では議場を見渡すことができず、特に議員席は、ほとんど見るできません。こうした状況を改善するため、モニターを設置し、画面で議場全体を見ることができるようになります。



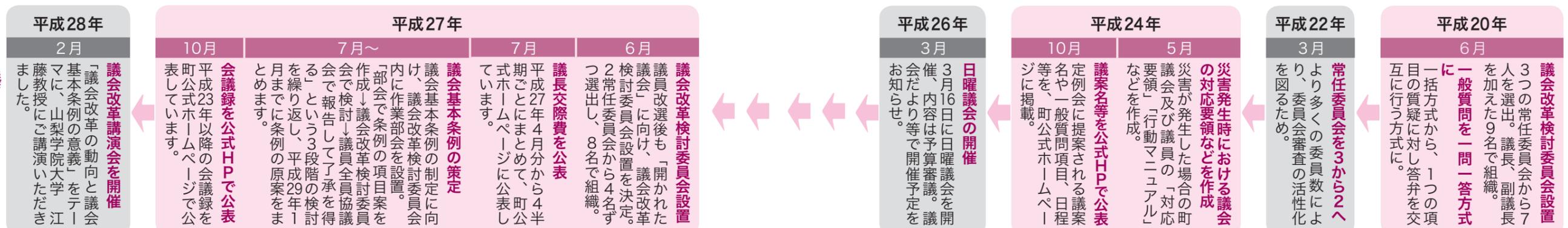
インターネット配信も可能に

通常、本会議は平日の日中に開催されます。今号の裏表紙「Voice」でも要望があるように、「傍聴したいが仕事などの都合で行けない。時間に制限されないインターネット中継を」という声は、これまでも寄せられていました。そのため、議会改革検討委員会でも調査・研究してきましたが、設備をデジタル化することでインターネット配信も対応可能になります。

今後、配信のための経費や効果等、導入に向け検討します。

 平成28年7月現在、県北部では熊谷市・深谷市・本庄市・秩父市と上里町で、議会本会議のインターネット中継（録画配信）をしています。

議会改革の取り組み



次のページは

委員会が変わる！

常任委員会、テーマを2つに「聴く」にも力を入れます

今後も
継続して
取り組んで
いきます！

